最古の金冠・銀冠

二本松山古墳

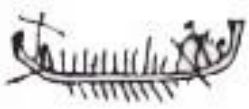
福井県永平寺町の二本松山古墳からは、金の冠・銀の冠が出土しています。四世紀～五世紀頃の大陸系のものと推定されています。ユーラシア大陸からの渡来人達が、豊潤で広大な水田適地を有するこの地に、巨大な帝国を築き上げました。　継体天皇が出現するよりも遥か昔から、越前の地には強力な王族が存在していた事の証です。

また、長い天皇家の歴史の中で、考古学的に実在が確認されている最古の天皇は、継体天皇です。

三世紀の女王・卑弥呼　～　六世紀の大王・継体天皇へと連なる王族の系譜が芽生え、日本列島の礎を築いて行ったのは、まさに越前の地です。

はやで邪馬台国は福井にあったんやって！

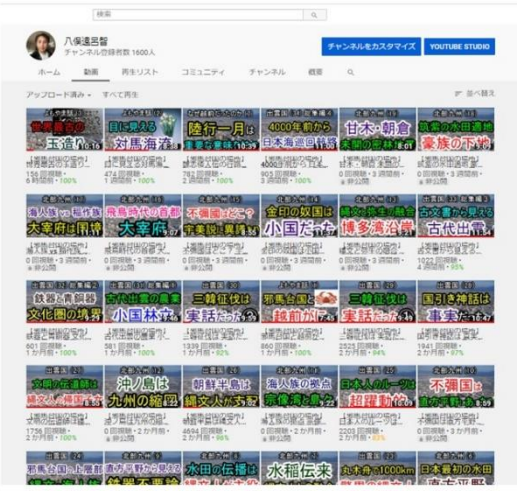
- 日本一の天然の水田適地
- 日本一の鉄器出土数
- 日本最古の大型外洋船の絵
- ◉日本最古の金冠、銀冠
- 継体天皇の近畿征服
- 日本で最初の紙の生産
- 女傑 神功皇后の拠点
- 邪馬台国への行路の完全一致
- 卑弥呼の墓の完全一致



詳細は、ホームページと YouTube 動画で解説しています。

https://www.xhimiko.com/

ホームページ



YouTubeページ